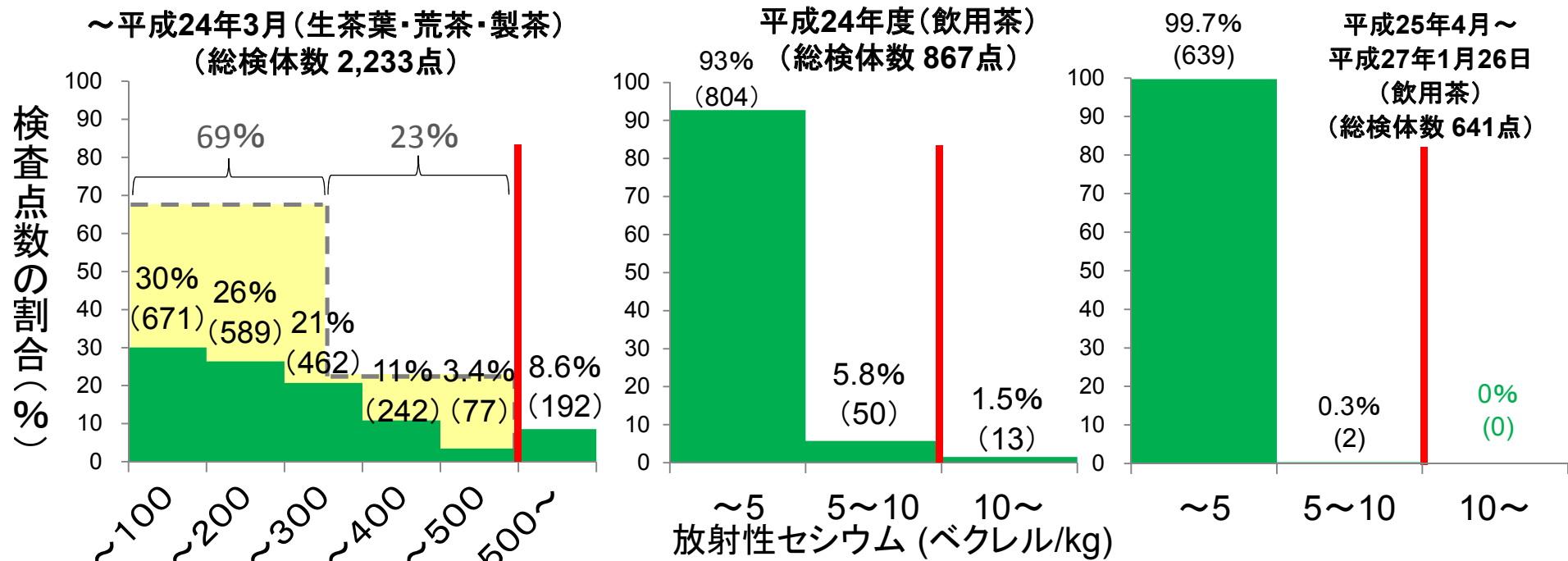


茶の検査結果の推移（～平成27年1月26日）

- 平成23年度は、事故直後に葉や枝に降下・付着した放射性物質の影響から、暫定規制値超過が1割弱みられた。
- 平成24年度以降は、基準値超過の割合は減少し、平成25年度以降は基準値超過無し。



(注) ・平成27年1月26日までに厚生労働省が公表したデータに基づく。()内は検査点数。

・茶の基準値は平成24年度以降は飲用に供する状態で10ベクレル/kg、平成23年度は生茶葉・荒茶・製茶の状態で500ベクレル/kg(飲用に供する状態での放射性セシウム濃度は、荒茶の概ね50分の1)。

・検出下限値未滿は、平成24年3月までのものは100ベクレル/kg以下、平成24年4月以降のものは5ベクレル/kg以下として集計。

農林水産省「農林水産現場における対応」より作成